

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2023年 6月21日 No.5

豊田運輸区で発生した人間破壊の強制転勤について、次々と驚愕の事実が発生しています。

①事前通知の発行をAさんに伝えず、まるで騙し討ちかのように、事前発令を手交!

■八王子支社・豊田運輸区管理者の主な動き

Aさんに駅に異動(6/1 発令)の話をする。「無理なら自営業やるしかない」

Aさんへ連絡 6/1 の異動はなくなった。異動自体は無くなったわけではない。

6/15 付で A さんを駅へ異動の事前通知を発行 A さんには伝えず!

えっ?!

乗務途中の A さんを区に戻らせ、混乱する A さんに対し「業務指示だ」と事務スペース奥の部屋のように強要し、6/15 付の事前通知を手交

5/13

5/29

5/31

6/3

I 事故や事象はこれまでゼロ。車掌指導を目指してやりがいをもって勤務

II 就業が困難な駅への異動懲憑で、心身異常が再燃し、勤務が出来ない状態となり 6 月 2 日まで会社を休む

III トラウマとなっている駅への異動が無くなったことに安堵し、心身状態を安定させ、6 月 3 日に乗務復帰を果たす

IV 心身状態の異常が深刻となり、病欠へ

組合員 A さんの心境の変化

5月29日に「異動はなくなった」と聞いて安堵した A さんは、心身状態を安定させ 6 月 3 日に出勤したところ、まるで騙し討ちのように、会社は、乗務途中で降ろし、事前通知を渡しました。

A さんは、6/15 の異動発令の意識付けは行われていません。このような「騙し討ち」で「意識付け」もない異常な人事運用で、A さんの心身は異常をきたしてしまいました。

②まるで騙し討ちかのように、家庭訪問・・・Aさんは体調悪化へ・・・

インターホン

6 月 14 日、病欠をとっている A さんの携帯電話に、職場から 7 回も電話がありました。A さんは職場管理者から人格否定のパワハラを受けた恐怖から電話に出ることができませんでした。そのような中、14 時に留守番電話に職場管理者から「今から家にいきます」と入っており、それを聞いた A さんはパニックに陥り、家を飛び出してしまいました。

その後、16 時過ぎの留守番電話では「(関係する) 書面を郵送する」とメッセージがあり、会社が家に来ることはない落ち着いた帰宅したところ、なんと、会社と思われる 4 名が自宅を訪問していた動画がインターホンに記録されていました。その内 2 名はまるで盗撮をしているかのように胸ポケットに携帯電話を入れて訪問していました。仮に盗撮していたとするなら大きな問題です。

それから、A さんは「家の外で待ち構えていると思ってしまう」「家で休養も出来なくなった」と症状がさらに悪化をしています。

イメージ

人間破壊の強制転勤を許すな!!